

農林水産物に含まれる放射性物質の濃度水準は低下しています。

- 農畜産物に含まれる放射性物質の濃度水準は低くなっており、基準値超過割合は年々低下。
- きのこと・山菜類、水産物では、基準値を超過したものが見られるが、超過割合は減少。

農林水産物の放射性物質の検査結果注1（17都県注2）（平成31年3月28日現在）

品 目		～23年度末 基準値 超過割合注3	24年度 基準値 超過割合注4	25年度 基準値 超過割合注4	26年度 基準値 超過割合注4	27年度 基準値 超過割合注4	28年度注4		29年度（～平成31年3月28日）注4		基準値超過品目
							基準値 超過割合	基準値超過点数 （検査点数）	基準値 超過割合	基準値超過点数 （検査点数）	29年度 ＜28年度＞
農 畜 産 物	米注5	2.2 %	0.0008 %	0.0003 %	0.00002 %	0 %	0 %	0 （ 1,027万 ）	0%	0 （ 998万 ）	—
	麦	4.8 %	0 %	0 %	0 %	0 %	0 %	0 （ 239 ）	0%	0 （ 189 ）	—
	豆 類	2.3 %	1.1 %	0.4 %	0.1 %	0 %	0 %	0 （ 957 ）	0%	0 （ 499 ）	—
	野 菜 類	3.0 %	0.03 %	0 %	0 %	0 %	0 %	0 （ 10,810 ）	0%	0 （ 8,275 ）	—
	果 実	7.7 %	0.3 %	0 %	0 %	0 %	0 %	0 （ 2,155 ）	0.06%	1 （ 1,579 ）	ク リ ＜ — ＞
	茶注6	8.6 %	1.5 %	0 %	0 %	0 %	0 %	0 （ 102 ）	0%	0 （ 85 ）	—
	その他 地域特産物	3.2 %	0.5 %	0 %	0 %	0.1 %	0 %	0 （ 480 ）	0%	0 （ 332 ）	—
	原 乳	0.4 %	0 %	0 %	0 %	0 %	0 %	0 （ 1,420 ）	0%	0 （ 770 ）	—
	肉・卵 （野生鳥獣肉除く）	1.3 %	0.005 %	0 %	0 %	0 %	0 %	0 （ 212,086 ）	0%	0 （ 211,897 ）	—
きのこ・山菜類		20 %	9.2 %	2.6 %	1.2 %	1.0 %	0.7 %	69 （ 9,241 ）	0.7%	54 （ 7,885 ）	原木シイタケ、コシアブラ等7品目 ＜コシアブラ、タラノメ等9品目＞
水 産 物		17 %	5.6 %	1.5 %	0.5 %	0.07 %	0.06 %	11 （ 18,166 ）	0.06%	11 （ 16,929 ）	イワナ、ヤマメ等3品目 ＜イワナ、ヤマメ等5品目＞
農林水産物計		3.4 %	0.02 %	0.005 %	0.002 %	0.001 %	0.001 %	80 （ 1,052万 ）	0.001%	66 （ 1,023万 ）	検査総数 ～23年度末：139,376点、 24年度：1,059万点、25年度：1,130万点、 26年度：1,126万点、27年度：1,077万点

(注1)厚生労働省及び自治体等が公表したデータに基づき作成。
(注2)「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」(原子力災害対策本部決定)で対象自治体としている17都県。ただし、水産物については全国を集計。
(注3)平成24年4月施行の基準値(100 Bq/kg)を超過した割合(原乳については50 Bq/kg)。なお、茶は、荒茶や製茶の状態では500 Bq/kgを超過した割合。
(注4)穀類(米、大豆等)について、生産年度と検査年度が異なる場合は、生産年度の結果に含めている。
(注5)福島県で行った23年度産の緊急調査、福島県及び宮城県の一部地域で24年度以降に行った全袋検査の点数を含む。
(注6)24年度以降の茶は、飲料水の基準値(10 Bq/kg)が適用される緑茶のみ計上。